

# 2021年 リザルトシステム管理者講習会

2021年9月20日(月・祝)

12:30-	受講受付開始
13:00-15:15	オフライン講習
15:30-17:00	オンライン講習

公益財団法人 日本スケート連盟  
フィギュア事業部

# オフライン・オンライン管理者共通

- 全てのリザルト管理者は、リザルトシステムの運用に関して注意深く関心を持ち、全選手の成績処理が公平に正しく行われるように、最大の努力をすべきです。
- また処理したデータがその後どのように利用されるかも良く理解すべきで、質問があった時には明確に説明できる程度の知識を有すべきです。
- ISUルールの変更、とりわけISUコミュニケーションの内容に関しても強く関心を持つべきです。
- しかしながらそれらはいくまでも、管理者の知識として利用すべきで、個人の能力を誇示するための物ではなく、正確に管理者としての義務を遂行するために使用すべきです。
- またCO(カルキュレーティング・オペレータ)がすべての処理を正確に行っているかを監査し、問題あるときにはその交代を含めて検討する必要があります。
- またこの講習会の目的は、決してコンピュータに詳しい人を育てるということではなく、あくまでもリザルトシステムを正確に使うことを監査することを目的にしています。

# 用語説明①

## リザルトシステム(RS)

- 大会設定/選手登録/役員登録の基本情報から、ジャッジパネル/滑走順/スケジュールの登録、それらによって選手の成績を処理し、資料やインターネットに掲載する資料などを作成する総合ソフトウェアです。

## ジャッジ・システム(JS)

- 競技中にレフェリー/ジャッジがそれぞれの採点を入力する端末で使用するソフトウェアです。

## データ・オペレータ(DO)

- データ・オペレータによって操作され、演技中にはTPがコールした内容を入力し、演技後はビデオリプレイを操作しながら要素を確定します。

## ビデオ・カッター(VC)

- リプレイオペレータによって操作され、演技中には選手が演技した要素のTrimIN(要素の開始位置)とTrimOUT(要素の終了位置)ポイントを入力します。演技後はジャッジ、TPがより要素を見やすくするためにそれらのポイントを修正します。

## 用語説明②

### オフライン・リザルト・システム

- RSだけで成績処理を行う使い方を意味する言葉です
- テクニカル・オフィシャルによって認定された要素や減点、レフェリー/ジャッジによって採点されたGOEやPCS、減点などのデータは、すべて手作業でRSに登録されます
- オフライン・システムの運用には「オフライン・システム管理者」の資格が必要です

### オンライン・リザルト・システム

- RS、JS、DO、VCとをネットワークで接続し、レフェリー/ジャッジの採点、TPによる認定など、すべてのデータ処理をオンラインで行い成績処理を行う使い方を意味する言葉です
- オンライン・システムの運用には「オンライン・システム管理者」の資格が必要です

# 関連サイト解説① リザルト・システムと関連するサイトのみ

## フィギュア役職管理サイト

- JSFや各都道府県におけるフィギュアの役職(部長/副部長/総務・・・)をメンテナンスするサイト
- 事業担当者は大会情報掲載サイトの管理を行うことができます

## 競技会参加申込サイト

- 地方競技会の開催情報を登録し、その大会の参加申し込みを受け付けるサイト
- 大会参加申込データはエクセルで利用、XMLデータはリザルトシステムで利用可能です

## 地方大会情報掲載サイト

- 地方大会の大会要項、同意書、スケジュールなどを掲載するためのサイト
- 競技会終了後には大会成績を掲載します

## 関連サイト解説② リザルト・システムと関連するサイトのみ

### 地方大会活動履歴登録サイト

- 地方大会でのレフェリー、ジャッジ、テクニカル・オフィシャル、スタッフとしての活動履歴を登録します
- 国内審判員資格の申請時に参照されます

### レポート記入サイト

- JSF主催大会および全国大会において、レフェリー、テクニカル・コントローラ、テクニカル・スペシャリストが競技会の終了後に提出するレポートを作成するためのサイト

# FX2SQLサポートサイト・メールマガジン

## FX2SQLサポートサイト

- 公開情報は、<https://www.fx2sql.com/> が全てです。
- 更に重要案内はメールマガジンで発信されます。メールマガジンの加入方法は上記サポートサイトでご案内しています。

## リザルト・システムの起動とバージョンアップ

- RSプログラムやSOVデータは頻繁に更新されています。
- それを自動で行ってくれるのが、「最新プログラム、コンポーネントのダウンロード」機能です。最低でも一ヶ月に一度は必ず実施してください。次に使い時にやれば良いはダメです。
- 更にこの機能を確実にするためには「ショートカットの追跡機能を無効化」です。サポートサイトをご覧ください。

**リザルト管理者には、RSを絶えず最新の状態に保つことが求められます。**

# COVID-19対策について

## 何を対象とするか？

- 人と人との感染予防はもとより、人と物との接触による間接的な接触感染までを含めしっかり対策する必要があります。
- インカム・リモートステーション、インカム・ヘッドセット、マウス、タッチパネル、机、椅子など人の手が触れたり、唾液が付着する可能性のある場所は、すべて消毒の対象となります。

## 誰が行い誰が管理するの？

- 決して「誰かがやってくれる」という事ではなく、複数の実施者と監督者でしっかりした体制をとることが大切です。
- 消毒に使用したウェスなどの処分に関してもしっかりと手順と取り決めをもち、管理されていることが必要です。他のごみと一緒に捨てるという事は絶対に避けるべきです。同様に個人が使用したマスクなどの取り扱いや処分方法も徹底すべきです。

## タイミングは？

- 競技の進行にもよりますが、整氷時、カテゴリーが変わってパネルが交代する時には必ず実施することになります。あくまでも主催者が最も安全と思われるフローを作成し完全に実施を管理する必要があります。



# 帳票の種類と出力・掲出などのタイミング

#	タイミング	帳票種類	代替手段
1	申込締切後	エントリーリスト	Webサイト
2	準備中	競技セッティングチェックリスト	なし
3	競技会前	滑走順リスト、スケジュール、ジャッジ・オフィシャル	Webサイト
4	競技前	各種採点リスト	なし
5	競技後	成績、成績詳細、ジャッジスコア、(減点リスト)	Webサイト

※1 従来のログ印刷は、エコの観点からデフォルトはPDFへの保存に変更しています。

※2 用紙への印刷を極力抑制し、Webサイト、PUSH通知の利用などを促進。但し採点リストの公平な使用に関しては規程の本質内で考慮。

# 帳票の種類①

印刷

マスタ印刷 | クラス別印刷 | 要素リスト | 表彰状印刷 | 検証リスト印刷

所属マスタ印刷  
 選手名マスタ印刷

チームマスタ印刷  
 オフィシャルマスタ印刷

印刷設定

プリンタ名:  印刷部数:

ログ印刷設定 | プレビュー | 印刷 | 閉じる

## マスタ印刷

マスタ(登録一覧)系の印刷メニューです

1. 所属マスタ印刷
2. 選手名マスタ印刷
3. チームマスタ印刷(シンクロ用)
4. オフィシャルマスタ印刷

次はクラス別印刷

## 帳票の種類②

印刷

マスタ印刷 | **クラス別印刷** | 要素リスト | 表彰状印刷 | 検証リスト印刷

クラス選択:  
[01] 男子

資料選択

- エントリー
- ジャッジ・オフィシャル
- 滑走順
- 成績
- 成績詳細
- ジャッジ・スコア
- スケジュール
- 減点リスト

印刷設定

プリンタ名:  印刷部数:

ログ印刷設定 | プレビュー | 印刷 | 閉じる

### クラス別印刷

クラス別資料の印刷メニューです

1. エントリー
2. ジャッジ・オフィシャル
3. 滑走順
4. 成績
5. 成績詳細
6. ジャッジ・スコア
7. スケジュール
8. 減点リスト

※1 滑走順は将来的にスケジュールで代替される可能性

※2 減点リストはレフェリーによる要確認資料

次は要素リスト

# 帳票の種類③

The screenshot shows a software window titled '印刷' (Print) with a tabbed interface. The '要素リスト' (Element List) tab is active. It features a 'クラス選択:' (Class Selection) dropdown menu set to '[01] 男子'. Below this is a '資料選択' (Data Selection) panel with eight radio button options: 'チェック・リスト', 'ジャッジ用採点リスト', 'レフェリー用採点リスト', 'TC用採点リスト', 'TS, ATS用採点リスト', 'DO, RO用採点リスト', 'メディア用リスト', and '予定要素データ確認リスト'. At the bottom, there is an '印刷設定' (Print Settings) section with a 'プリンタ名:' (Printer Name) dropdown set to 'iR-ADV C5535' and an '印刷部数:' (Print Count) spinner set to '1'. Four buttons are located at the very bottom: 'ログ印刷設定', 'プレビュー', '印刷', and '閉じる'.

## 要素リスト

クラス別資料の印刷メニューです

1. チェック・リスト
2. ジャッジ用採点リスト
3. レフェリー用採点リスト
4. TC用採点リスト
5. TS, ATS用採点リスト
6. DO, RO用採点リスト
7. メディア用リスト
8. 予定要素データ確認リスト

※1 メディア用リストはタイマーさん用リストに転用可

※2 予定要素データ確認リストは予定要素のインポート確認に利用(予定要素は毎年5月1日にリセットされます)

次は表彰状印刷

# 帳票の種類④

印刷

マスタ印刷 | クラス別印刷 | 要素リスト | **表彰状印刷** | 検証リスト印刷

クラス選択:  
[01] 男子

競技会名: 第89回全日本フィギュアスケート選手権大会

クラス名: 男子

順位選択: [ ]

選手名1: [ ]

所属名1: [ ]

選手名2: [ ]

所属名2: [ ]

日付: 2021年9月11日

印刷設定

プリンタ名: iR-ADV C5535 | 印刷部数: 1

ログ印刷設定 | プレビュー | 印刷 | 閉じる

## 表彰状印刷

エクセルのテンプレートを利用して表彰状印刷をサポートします

但し一部のPCでこの機能が動作しないことを確認しておりますが、残念ながら原因の発見には至っておりません。

次は検証リスト印刷

# 帳票の種類⑤

印刷

マスタ印刷 | クラス別印刷 | 要素リスト | 表彰状印刷 | 検証リスト印刷

システム・バージョン・チェック・リスト

要素・バージョン・チェック・リスト

競技セッティング・チェック・リスト  
└─ [01] 男子

SOVチェック・リスト  
└─ Single

印刷設定

プリンタ名:  印刷部数:

ログ印刷設定 | プレビュー | 印刷 | 閉じる

## 検証リスト印刷

システムとしての検証リストの印刷メニューです

1. システム・バージョン・チェック・リスト
2. 要素バージョン・チェック・リスト
3. 競技セッティング・チェック・リスト
4. SOVチェック・リスト

- ※1 競技セッティング・チェック・リストは本来レフェリーによって確認してもらう必要があります
- ※2 SOVチェックリストは、SOVの変更後には確認の必要があります

次はスケジュール設定

# スケジュール設定

1. 地方大会ではスケジュール機能が使われていることがあまり多くないようですが、将来は滑走順リストに変わってスケジュールリストが使用されることが想定されます。
2. Webサイトの表示もスケジュール表示に変更される可能性もあります。
3. 既存のスケジュール計算ソリューションの確認用としてもスケジュール機能は有効です(ダブルチェック)。

# スケジュールの設定例(SP)

スケジュール

クラス選択: [01] 男子

セグメント選択: [SP] ショート・プログラム

期日: 2020年12月25日

開始時刻: 12時30分

ジャッジ時間(基本): 02分55秒

ジャッジ時間(延長): 02分55秒

ジャッジ時間延長対象グループ: なし

ウォームアップ: 06分00秒

ウォームアップグループ紹介: 01分00秒

整氷時間: 15分00秒

演技紹介時間: \_\_分 \_\_秒

演技時間: 02分40秒

ジャッジ時間中にウォームアップを開始する:

ウォームアップグループ:  
6,6,6,6,6  
例 5,5,6 (第1グループから順にグループの人数をカンマで区切って入力)  
例 5,5,6:T201000 (第3グループの開始時刻は20時10分00秒とします)  
例 5:G1800,5,6 (第1グループの1番滑走まで1800秒余分に計算します)

整氷:  
1,3  
例 2,4 (ここで指定したグループの後に整氷を行います)  
例 2:1800,4 (第2グループの後の整氷は1800秒(30分)にします)

参加選手数: 30  
※選手数はスケジュール登録データを使用しています。

計算上の終了時刻 16時40分00秒

## スケジュール(SP)

左図は2020年全日本時のスケジュール設定です。  
ジャッジ時間の設定は、ジャッジの数、ジャッジの習熟度などによって変化させる必要があります。

1. ジャッジ時間のデフォルトは3分10秒です。
2. ウォームアップグループ紹介は通常は使用しません(00分00秒または\_\_分\_\_秒に設定)。
3. グループの最終滑走者のジャッジ時間中に次のグループのウォーミングアップを開始するときには「ジャッジ時間中のウォームアップを開始する」にチェックを付けます。
4. ウォームアップや整氷時間も柔軟に対応できるので例の表記を読んで試してみてください。

次はスケジュールの設定例(FS)





# スケジュールの設定例(ブロックでの実際の値)

CAT	SEG	ジャッジ 時間基本	ジャッジ 時間延長	延長対象 グループ	W/G紹介
Sr. M	SP	2:00	0:00	なし	0:00
Sr. W		2:00	0:00	なし	0:00
Jr. M		2:00	0:00	なし	0:00
Jr. W		2:00	0:00	なし	0:00
Sr. M	FS	2:30	0:00	なし	0:00
Sr. W		2:30	0:00	なし	0:00
Jr. M		2:30	0:00	なし	0:00
Jr. W		2:30	0:00	なし	0:00
Nv. AM		2:30	0:00	なし	0:00
Nv. AW		2:30	0:00	なし	0:00
Nv. BM		2:00	0:00	なし	0:00
Nv. BW		2:00	0:00	なし	0:00

## 実際の設定例

左図はブロック大会時の設定例です。

凡例

CAT：カテゴリー

SEG：セグメント

W/G：ウォームアップグループ

Sr.：シニア

Jr.：ジュニア

Nv.A：ノービスA

Nv.B：ノービスB

M：男子

W：女子

次は事前テスト

# 事前テスト

## 1週間前ハードウェアチェック&フルスケールテスト

- 大会のおよそ1週間前にハードウェアのチェックを必ず行うべきです。オンラインのほとんどの機材がリンクに保管してある場合が多いと思いますが、数か月電源をオンにしていないことが多いです。
- その場合バッテリーが完全消耗し最悪の場合、BIOSをバックアップしているバッテリーも消耗していて、パソコンが起動せずキーボードからの何らかの操作が必要な場合があります。
- 1週間前テストではバッテリーが必ず適切な状態まで充電できることを確認しておく必要があります。それでもバッテリーが消耗していると1週間で放電しきってしまうケースもあります。
- オンラインの場合には機材量が多いのでその分故障発生率も高くなります。しっかり点検しておくことが競技会中のトラブル軽減に役立ちます。
- 更にフルスケールテスト(内容は次ページ)を実施します。

## 大会数日前

- フルスケールテストが完了していれば、ここで行うテストはRSだけでも構いません。手控えの印刷や試合当日に向けての準備やデータの最終確認を行います。
- またもし何か不安要素があればその回避策に関してもしっかり検討しておきます。

# フルスケールテスト

## フルスケールテストの内容

- フルスケールテストというのは競技会で行われるすべてのクラスのテストを行わなければならないという事ではありません。
- シングルだけを例にとれば、SP+FSのクラスが4つ、SPだけのクラスが2つ、FSだけのクラスが6つあるとすると、SP+FSのクラスの中から1つ、SPだけのクラスの中からの1つ、FSだけのクラスの中から1つ、できれば参加選手が一番多いクラスの選択が望ましいですが、この場合計3つのクラスを選択し、試合の流れの通り全選手のテストを行います。

## 大会数日前

- フルスケールテストが完了していれば、ここで行うテストはRSだけでも構いません。手控えの印刷や試合当日に向けての準備やデータの最終確認を行います。
- またもし何か不安要素があればその回避策に関してもしっかりと検討しておきます。

# オフライン講習 終了

お疲れ様でした。



**WINDOWS 11** 対応に関する情報は本年12月以降にリリース予定です。それまでのご質問にはお答えすることはできないのでご了承ください。

これ以降は質疑応答に入ります。

オンラインの講習は15時30分開始予定です。

# オンライン・システムのメリット/デメリット

## メリット

1. 競技会の運営や採点の公表がスムーズに行われます。
2. JSF主催事業参加に際してのトレーニングを行えます。

## デメリット

1. システム設定のミスに気がつきにくく成績処理を正確に行うことができないケースが考えられます。
2. システムトラブルによる選手への影響と切り替え時のリスク。
3. 機材保有リスク、TCOの増大、個人へのタスク集中



# 設置/運用における注意事項について

## 注意事項

- 全てに最優先するのは安全(漏電、過電流)です。
- 専用電源がある場合を除いて、必要不可欠な場所には無停電電源装置(UPS)などの投入も必要です。
- オンラインは、演技～採点～案内などスムーズな競技運営に便利かも知れませんが、反面機材トラブルやオペションによる遅延はそれ以降の選手などに対して要らぬ負担を課してしまう事も少なくありません。それらを防止するためにも機材の管理、オペレーションの習熟の程度を知ることは管理者として同然の責務です。
- 同様に競技会の流れという意味では、カルキュレーティング・オペレータ(CO)の動きにも十分注意を払う必要があります。オペレーションにムラがあったり、集中力がないオペレータには交代してもらう英断も必要です。
- つまり成績を扱うという事はとても重要なことだと理解していただきたいのです。
- 加えて機材異常時のフェールセーフの事やバックアップの事は十分検討しておく必要があります。

# 施設納入オンラインシステムの実態

## 残念なことに

1. ほとんどのベニューで定期的な充電が行われていません。この状態では使いたいときに使えないというケースが発生します。
2. PCのバッテリーにはメインのバッテリーと、内部情報を保持するボタン電池のようなバッテリーの2種類のバッテリーが内蔵されています。
3. メインバッテリーの容量が無くなると、情報保持のためにボタン電池が使用されますが、このボタン電池は再充電ができないために、容量がなくなるとパソコンの起動時などにキーボードからの操作が必要になるような状況となります。
4. このような状況にならないためには数ヶ月に一度程度の充電のための作業を行う必要があります。



# DO/VCで使用するビデオ規格について

## 規格概要

- フレームサイズ: 1280x720 (720p)
- フレームレート: 60(59.94)fps または 30(29.97)fps
- ビットレート: 2Mbps~5Mbps
- コーデック: H.264
- オーディオコンプレッション: 不要(未使用)
- 転送プロトコル: RTSP

現時点での推奨エンコーダは、TERADEK社 600シリーズ(10-0605)です  
エンコーダーの役割や機能など、十分理解しておく必要があります。

※ この規格は現時点ではオンライン/オフラインシステム共通となっています。

# DOで使用する設定パラメータについて

FX2 DO - 環境設定

FX RS IP  .  .  .

Shared Folder

FX RS Port

RTSP URL

Play Slow Ratio  Super Slow Ratio

Play Rev. Interval  ms

Play Rev. Frame  fr Slow Rev. Frame  fr  
x3 Fast Rev. Frame  fr

Use Waltz(1W) Jump

Use Quit button on Main Screen

RSのIPアドレスを設定します

IPアドレスからRSの共有フォルダを特定します

RSと通信するポート番号を設定します

ビデオエンコーダと通信するURLを設定します

スロー再生のレートを設定します

スーパースロー再生のレートを設定します

逆再生のコマ送りのインターバルです

逆再生の1コマあたりのフレーム数です

逆スロー再生の1コマあたりのフレーム数です

逆3倍速時再生の1コマあたりのフレーム数です

ワルツジャンプを使用する場合はチェックします

メイン画面に終了を表示する場合はチェックします

※ 通常再生の早送りは3倍速固定です。

# VCで使用する設定パラメータについて

FX2 VC - 環境設定

Screen Size  x  Pixel

FX RS IP  .  .  .

Shared Folder

FX RS Port

RTSP URL

Play Slow Ratio  Super Slow Ratio

Play Rev. Interval  ms

Play Rev. Frame  fr Slow Rev. Frame  fr

Offline Mode  Use as offline VC

- スクリーンのサイズを指定します
- RSのIPアドレスを設定します
- IPアドレスからRSの共有フォルダを特定します
- RSと通信するポート番号を設定します
- ビデオエンコーダと通信するURLを設定します
- スロー再生のレートを設定します
- スーパースロー再生のレートを設定します
- 逆再生のコマ送りのインターバルです
- 逆再生の1コマあたりのフレーム数です
- 逆スロー再生の1コマあたりのフレーム数です
- オフラインVCとして使用する場合はチェック

# オンライン講習

お疲れ様でした。これ以降質疑応答に入ります。